

Ryukoku Public Lecture

びわ湖の日滋賀県提携 公開講座

「びわ湖の日（7月1日）」にちなみ、滋賀県と龍谷大学の提携による参加無料の公開講座を3回実施（各回のみの参加可能）。びわ湖の保全再生、持続可能な社会づくりに向けて、一人ひとりが新たな気づきを得ていただくことを目的に開催します。



RYUKOKU
UNIVERSITY

7月1日
びわ湖の日



日時・テーマ・講師

第1回 9月14日（土） 10:00～11:00

テーマ クラゲを栽培？「姉川クラゲ」

講師 玉井 鉄宗（龍谷大学農学部農学科 准教授）

第2回 9月28日（土） 10:00～11:00

テーマ 古地図に描かれた近江の村のドボク

講師 島本 多敬（滋賀県立琵琶湖博物館 学芸員）

第3回 10月12日（土） 10:00～11:00

テーマ びわ湖でも活躍！「水中ロボット」

講師 坂上 憲光（龍谷大学先端理工学部機械工学・ロボティクス課程 教授）

受講のご案内

開催場所 龍谷大学大宮キャンパス 東翼3階（京都市下京区七条通大宮東入大工町125-1）
（対面とオンラインのハイブリッド開催）

申込方法 こちらのサイトから。各回ごとにお申込みください。＜無料＞
<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-15156.html>

定員 各回 70名（対面）+100名（オンライン）＜先着順＞

問合せ先 龍谷エクステンションセンター（REC）滋賀

E-mail：rec@ad.ryukoku.ac.jp Tel：077-543-7743



各 回 概 要

第1回 9月14日（土）10:00～11:00

テーマ クラゲを栽培？「姉川クラゲ」

講 師 玉井 鉄宗（龍谷大学農学部農学科 准教授）



「姉川クラゲ」とは、滋賀県米原市から長浜市に流れる姉川流域に自生し、食用とされていたイシクラゲのこと。水さえあれば化学肥料も農薬も必要とせず、コストをかけず環境にやさしい栽培が可能です。また、生理活性物質を多く含むことが知られており、大量生産ができれば、食品としてだけでなく、医薬品、化粧品などへの応用が期待されます。「姉川クラゲ」の人工栽培の研究を通して判明したことや展望などをご紹介します。

第2回 9月28日（土）10:00～11:00

テーマ 古地図に描かれた近江の村のドボク

講 師 島本 多敬（滋賀県立琵琶湖博物館 学芸員）



最近、想定を超えた降雨で水害や土砂災害が頻発し、改めて地域に受け継がれてきた防災の知恵や、条件に合った土地の使い方が見直されています。そこで今回は、滋賀県に残る150年ほど前の古地図から、江戸～明治期の村人たちがつくり、管理していたドボク（堤などの歴史的な土木施設）を読み解きます。古地図から現在の景観の成り立ちを知ることは、防災のヒントにもなるはずです。

第3回 10月12日（土）10:00～11:00

テーマ びわ湖でも活躍！「水中ロボット」

講 師 坂上 憲光（龍谷大学先端理工学部機械工学・ロボティクス課程 教授）



「水中ロボット」は近年、インフラ施設の点検、環境調査、教育目的など広く利用されるようになってきました。広範囲を自律的に調査するロボットや複雑な作業を行うためにロボットアームを持つ操縦型ロボット等が利用されています。このように私たちの生活に欠かせない水資源において利用価値が高まっている「水中ロボット」の先端研究の一端をご紹介します。



交通機関でのアクセス

JR東海道本線・近鉄京都線・京都市営地下鉄烏丸線

「京都」駅下車、北西へ徒歩約10分（市バス約3分）

JR山陰本線（嵯峨野線）「梅小路京都西」駅下車、
北東へ徒歩約10分

最寄りのバス停：市バス 七条大宮・京都水族館前



お申込みはこちらから。各回ごとにお申込みください。＜無料＞

<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-15156.html>

